

南部町立小中学校施設耐震化整備の状況

南部町では、今後30年間に高い確率で発生することが予測される東海地震による、甚大な被害が想定されています。東日本大震災と同等な大規模地震を考え、来るべき大規模地震に備えるため、本町では学校施設の耐震化を最優先課題として取り組んできました。学校施設は、児童生徒が学校生活や学習活動の場として、1日の大半を過ごす重要な場所であり、学校教育を支える基礎となるものです。

また、学校施設は地域の皆さまにとって、身近な公共施設であり、大規模災害が発生した際には、避難所として生活を支える施設でもあります。必要な施設については、耐震診断を平成16年度に完了し、すべての施設の耐震補強工事を平成18年度に完了して耐震化率100%となりました。

耐震診断実施率 100 %

耐震化率 100 % (全国平均 80.3%、山梨県平均 93.7%:平成23年4月1日現在)

学校名	校地面積	区分	建築年月日	保有面積	新耐震基準	耐震診断・改修状況				備考
						診断済		補強済		
睦合小学校	22,095 m ²	校舎	S53.7.1	2,942 m ²		○	H14耐震診断	○	H15耐震補強	
		体育館	H18.12.1	867 m ²	○					
栄小学校	14,867 m ²	校舎	S55.8.1	2,747 m ²	○					栄小校舎は整備時に昭和56年度基準で整備した
		体育館	H4.2.1	797 m ²	○					
富河小学校	15,714 m ²	校舎	S59.3.1	2,528 m ²	○					
		体育館	S51.3.1	781 m ²		○	H16耐震診断	○	H17耐震補強	
万沢小学校	10,034 m ²	校舎	H6.8.1	1,846 m ²	○					
		体育館	S47.3.1	601 m ²		○	H13耐震診断	○	H14耐震補強	
南部中学校	19,033 m ²	校舎	H13.12.1	4,894 m ²	○					
		体育館	H13.12.1	949 m ²	○					